

広島県聴覚障害者センターだより



Hiroshima Chokaku Center

広島県聴覚障害者センター

〒734-0007 広島市南区皆実町1丁目6-29

電話：082-254-0085

FAX：082-254-0087

E-mail minami@hiro-chokaku.jp

URL hiro-chokaku.jp

No.15 2018(平成30)年9月1日発行 (毎月1日発行)



情報格差について



以前は、テレビに字幕あるいは手話通訳の付くことが殆どありませんでした。

聴覚障害者は等しく情報面で不利益を被っていて、テレビに字幕あるいは手話を付ける運動が全国各地で展開されました。

しかし、平成30年7月豪雨では、インターネット、特にSNSの発達で状況が変わっているのを痛感しました。

私の住んでいる市も被災したのですが、インターネットの情報、特にSNSでの情報に随分助けられました。

例えば、道路情報についてです。SNSの一つであるフェイスブックには公開グループがいくつかあり、地域あるいは、災害情報共有の公開グループもあります。

そこには、道路のリアルタイム情報(道路陥没、渋滞情報など)が寄せられます。この時間帯では、どこからどこまで行くのに、どのくらい時間がかかるかという情報を複数の人が寄せています。こうした、正確なリアルタイム情報はある意味で、テレビや行政等の情報よりも早くて分かりやすいものです。

道路情報のみならず、断水した地域では、民間による給水サービスをしているお店リストの情報もありました。この情報を見て、私も、自宅近くの珈琲店に行き、給水をさせていただきました。

こうした情報は、以前は口コミによるものが多く、聴覚障害者には縁遠いものでした。

聴覚障害者は、こうした情報から等しく疎外されてきました。

しかし、インターネットの発達には、同じ聴覚障害者の中にも情報格差を生もうとしています。インターネットに馴染んだ聴覚障害者はリアルタイムの情報を得る一方、パソコンやスマホを持っていない、あるいは使いこなせない聴覚障害者は情報を得にくい状態が続いています。

センターではスマホ講習会などを開催し、すべての聴覚障害者の情報を保障していきます。その一方、徳島市の「見守られ隊」(センターだより2018年2月号参照)のような自主的な集まりの場があればと思います。本当に知りたい情報を得る方法を教える場合、こんなアプリがあるよという情報交換の場にセンターがなれば…と思っています。

(松岡)

